

青森県商工会報

Aomoriken Shoukou Kaihou

商工会は 行きます 聞きます 提案します

発行：青森県商工会連合会／編集：広報編集グループ

〒030-0801 青森県青森市新町 2-8-26 青森県火災共済ビル 5F

TEL・017-734-3394 (代表) FAX・017-773-7249

12月・1月合併号

No.383

今月の一枚

津軽五所川原～津軽中里

「ストーブ列車」



Contents

- 年頭挨拶～青森県商工会連合会 会長 今 誠康～(P.1)
- 年頭挨拶～全国商工会連合会 会長 石澤 義文～(P.2)
- 第 53 回商工会全国大会 (P.3)
- ニッポン全国物産展 (P.4)
- わがまちの元気な企業再発見 ～プティ・ボヌール (平内町) ～ (P.5)
- 商工会だより ～風間浦村商工会～深浦町商工会～ (P.6)
- 第 20 回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会 (P.7)
- 第 15 回商工会女性部全国大会 in 愛媛 (P.8)
- 平成 25 年度経営指導事例研究発表 (P.9)

【津軽五所川原～津軽中里

「ストーブ列車」】

車両内に二つ設置された昔ながらの石炭ダルマストーブ。暖をとったり、スルメを焼いたり、外の厳しい寒さから逃れた人々が自然と集まる様子は、津軽の冬の風物詩でした。

昭和 5 年の津軽鉄道開通以来、津軽五所川原駅～津軽中里駅間の約 50 分間を毎冬運行してきたストーブ列車ですが、車体の老朽化や経費の関係から一時は廃止の話が挙がりました。しかし、廃止を惜しむファンの声と地元自治体の要請により継続運行されています。平成 19 年からはストーブのある車両に乗るには普通運賃の他に 300 円のストーブ列車券が必要となりました(車両の整備・維持等に活用)

今冬も 12 月 1 日～3 月 31 日まで、1 日 3 往復 (12 月中は運行日注意)、多くの乗客を乗せてストーブ列車が走ります。

平成二十六年 年頭にあたって



青森県商工会連合会
会長 今 誠康

平成二十六年の新春を迎えるにあたり、会員の皆様に謹んでお喜び申し上げます。

旧年中は、商工会並びに本連合会の事業推進に際しまして、会員の皆様をはじめ、関係各位の皆様方に、特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は新年早々、大間産マグロが史上最高値で競り落とされるという県内関係者にとっては明るい話題から始まったものの、三年連続の豪雪や、台風十八号の暴風雨により、農林業や住民生活への被害が発生するなど自然の猛威に悩まされた一年でありました。

国内の経済情勢に目を向けると、いわゆる「アベノミクス」効果に

より、国内需要が堅調に推移し、生産が緩やかに増加している中で、雇用・所得環境にも改善の動きが

みられていることから、直近の日銀「地域経済報告」では、本県を含む東北地方において「回復している」とされたほか、全地域で景気判断が引き上げられており、明るい兆しが表れ始めております。

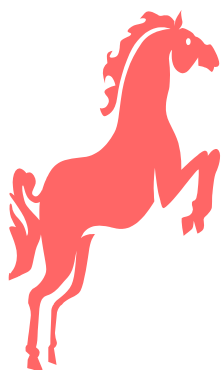
しかしながら、私も商工会地域においては、過疎化や少子高齢化の進展など社会的要因もあり、今後も消費の縮小傾向が進むものと見込まれています。現に、小売店等の減少によって組織率低下の傾向は続いており、経済指標が表すような生産・所得・支出の好循環の流れに乗るのは決して容易な

事とは言えず、看過できない課題となっております。

このような状況の中で商工会と本連合会は、企業の支援ニーズに応じ、きめ細やかなサービスの提供をすることで、本県中小企業の振興や、商工会地区経済の根幹となる地域コミュニティの維持を図るべく、県や市町村などの関係機関と一致協力して、地域資源を生かした六次産業化による産業振興や雇用創出に引き続き取り組んでいきます。

その実現に向けては、今まで以上に、巡回指導の強化を図り、企業の抱える課題を見極め、解決策の提案を行い、企業経営者と伴走した支援体制の強化充実に努めてまいりますので、関係各位の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後に、商工会会員の皆様並びに関係機関各位にとりまして、今年が輝く一年でありますようご祈念申し上げます。



会 長	副会長	副会長	専務理事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	監 事	監 事	監 事
今 誠 康	前 山 誠 一	竹 林 秋 雄	吉 川 源 悟	宮 腰 陽 一	中 田 勝 美	越 後 林 達 巳	七 尾 潔	梅 津 春 男	上 長 根 浅 吉	円 子 徳 通	野 上 祐 一	東 條 一 彦	中 美 久 里 子	駒 嶺 剛 一	網 野 榮 一 郎	本 郷 鉄 男
金 木	西 目 屋 村	三 沢 市	階 上 町	買 外	大 鰐 町	藤 崎 町	平 内 町	三 戸 町	六 ヶ 所 村	六 戸 町	中 泊 町	県 青 連	県 女 連	風 間 浦 村	鯉 々 沢 町	今 別 町

平成二十六年 年頭にあたって



全国商工会連合会
会長 石澤 義文

新年明けましておめでとうございます。平成二十六年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、我が国経済は、政府が打ち出している各般の経済政策の効果により、先行きに明るい兆しが見え始めてきたものの、四月に迫った消費税率の引上げ、原材料価格の高騰など、中小・小規模企業が抱える不安材料は山積しており、特に、地方の小規模企業にとっては、景気回復の実感を得ているとは言えない、極めて厳しい状況が続いております。

こうしたなか、「小規模企業基

本法制定決起大会」として、昨年十一月に開催した第五十三回商工会全国大会では、厳しい立場にある小規模企業への支援に特化した「小規模企業基本法」の早期制定を強く要望する決議を行いました。小規模企業基本法の制定に向けては、全国の商工会員の皆様のご協力のもと、百万人署名運動を展開して参りましたが、今年は、この皆様の熱い思いを、基本法の早期制定や更なる支援施策の充実へと結実させるべく邁進して参りたいと存じます。

また、今後、景気回復の動きを確かにし、日本経済が真に復活を遂げるには、まずもって、我が国全企業の八十七%を占め、これまでに地域に密着し、地域の経済・社会・コミュニティを支えてきた小規模企業が元氣にならなければなりません。

そのため、地域の中核的存在である商工会が、徹底した巡回訪問を通じ、常に新たな提案を行うことで、小規模企業に活力をもたらし、そして、地域を盛り上げていくことが、今まで以上に求められています。

地域と共に歩み、小規模企業を支えているのは我々商工会です。



あなたも家族もまるごと守る!
頼れる補償の

商工会の 福祉共済

全国商工会会員福祉共済



「けが」の
補償



トータル
「がん」補償



「病気」の
補償*

シンプル「がん」補償がスタートしました!



商工会会員
10万人以上の方に
ご利用いただいています

お申込みはご加入の商工会まで

*「病気」の補償は「けが」の補償に加入されている方のみがお申込みいただけます。



第五十三回

商工会全国大会

十一月二十一日、「第五十三回商工会全国大会」がNHKホール（東京都）で開かれ、本県から県下商工会長等三十八名が参加しました。全国から商工会関係者、安倍総理大臣、茂木経済産業大臣、等の来賓を招いて盛大に開催されました。



全国大会の様子

商工会全国大会が開催

全国大会では、商工会の会員をはじめとする地域内事業者への支援を充実させるとともに疲弊する地域に活力を取り戻すため住民・行政との連携をとり、地域の中核的存在としての役割を担うことを大会趣旨として開催されました。また、「行きます 聞きます 提案します」の統一キャッチフレーズのもと、巡回訪問を徹底し、地域総合経済団体としてさらなる進歩を遂げる必要があると決意表明をしました。

また、それぞれの地域の維持・発展に大きな役割を果たしている

小規模企業が将来に夢と希望を持つことが出来るよう、経済の効率化や販路拡大等の支援に特化した「小規模企業基本法」を早期制定するよう要望しました。

さらに本日の大会を「小規模企業基本法制定決起大会」と位置づけ、「新たな法律」の制定に向けた活動を一層推進させるとともに、今後とも地域経済・社会において中核的役割を果たしていくため、地域や小規模企業に対する「新たな提案」に繋がる経営支援や巡回訪問を徹底するなど、商工会のさらなる支援機能の強化に向けて邁進する決意として次の五項目の決議を行いました。

- 小規模企業基本法の早期制定
- 地域や小規模事業に対する支援策の抜本的拡充
- 中小・小規模企業のための税制・社会保障施策の実施
- 東日本大震災被災地・原発事故・電力の安定供給等に対する万全の対策
- 地域に根差す商工会の支援機能のさらなる強化

全国商工会連合会会長表彰
役員功労者一覧

石澤会長挨拶

◇階上町◇

左京 忠史 地代所春雄

小松 雅彦 加藤 裕

石沢 孝市 坂 政和

角地 直夫

◇西目屋村◇

桑田 定信 坂田 健栄

◇三沢市◇

相場 博 古間木勝弘

◇青森市浪岡◇

小倉 尚裕 奈良岡敏典

伊藤 彰紘 三上恵美子

雪田 廣志 工藤 修一

ニッポン全国物産展

全国商工会連合会主催の「ニッポン全国物産展」が十一月二十二日（金）～二十四日（日）の三日間、池袋サンシャインシティ（東京都）において開催されました。当日は全国三百六十一の事業者が出展し、開催期間中は天候にも恵まれ、約十三万五千人の来場者で賑いました。



試食販売で青森の味を確かめる来場者

この全国物産展は、各地の特産品を消費者や流通業者などに対して幅広く紹介することにより、市場開拓等を支援するとともに、中小・小規模事業者の商品展開力・販売力向上を図り、地域経済の活性化を図る事を目的としております。

会場には全国の地域資源などを活用して開発された特産品を中心に、各地域の特色を生かした産品が一堂に集合し、出展者による即売会や商品PR関係者との情報交換が積極的に行われていました。

青森県ブース大盛況

本県からは、全国展開支援事業や農商工連携等を通じて開発された商品を中心に県連を含めた八事業所が出展し、多くの来場者から好評を得ておりました。

県連ブースでは野辺地町商工会が新開発した『野辺地葉つきこかぶのカルパッチョソース』等のモ

ニタリング調査等を行い、今後の販売戦略等に役立てる方針です。



大盛況だった青森県ブース

また、四十七都道府県のご当地ならではの菓子から、来場者の投票で優勝を決める毎年好評の「全国ご当地おやつランキング」コーナーが今年も設けられ、本県からはベーカリーショップ「天恵ぶどうの木」のアップルパイ『ほっこりんご』がエントリーしました。惜しくも優勝とはいきませんでしたが、青森が誇るりんごを活かしたアップルパイの味を来場者は楽しんでいました。

○青森県内出展企業等紹介

【県連 枠】

- ・株式会社 駒嶺商店（風間浦村）
- ・（海産加工品（鮫鱈・塩辛等））
- ・青森・下北ふるさとの会（横浜町）
- ・（ほたて加工品や菜種油等）

・階上町商工会（階上町）

- ・（階上早生そばやせんべい汁セツト等）

・大間町商工会（大間町）

- ・（マグロ他海産加工品）

・青森県商工会連合会

- ・（野辺地葉つきこかぶのカルパッチョソース、ユタカ漬、山のりんごコーヒール、しじみチャウダー）

【おやつコーナー 枠】

- ・天恵 ぶどうの木（八戸市）
- ・ランキング出展商品
- ・「ほっこりんご」

【一般 枠】

- ・津軽甘熟りんご研究会（平川市）
- ・（りんご加工品（りんごスナック等））
- ・にんにくのよしだ家（三戸町）
- ・（にんにく詰め放題他にんにく加工品）

わがまちの元気な企業再発見

きらりと輝くひと



【企業概要】

所属商工会：平内町商工会
 会社名：Petit・Bonheur
ブティ ボヌール
 代表者：渡辺 悟
 住所：平内町藤沢字
 家ノ下 7-3
 電話番号：017-755-3585
 営業時間：10:00～18:00
 定休日：毎週火曜日

平内町は、青森県のほぼ中央に位置し、養殖ホタテ生産量が日本一の「ホタテの町」です。

津軽三味線の第一人者で国際的にも評価の高い「高橋竹山師」が生まれ育った町でもあり、「浅虫夏泊県立自然公園」や「夜越山森林公園」などを有する県内有数の観光地です。また「椿山海岸」は、日本の渚・百選に選ばれるなど風光明媚な町であります。今回は、今年一月に開業したばかりのお菓子工房「プティ・ボヌール」を紹介いたします。

修行の日々／念願の開業 『人とのつながり』

事業主の渡辺さんはもともと和食をやりたくて、宮城県松島町の「ホテル一の坊」で修行をしていました。結婚式の手伝いなどでデザートにも触れる機会が多々あり、だんだんとそちらに興味が移っていき、二十歳の時に一大決

心をしてパティシエの道に進みました。パティシエとしても十二年間修行し、念願の自分の店を今年の一月にオープンすることができたのです。

開業後の三月、帳簿や経理のことについて相談するため商工会へ来訪し、商工会への相談をきっかけに会員加入、四月には青年部へも加入し、そこから色々な人との

つながりが広がっていったそうです。

十月には、町の花「つばき」をイメージしたオリジナルスイーツを町の若手有志らと企画し約五ヶ月の試行錯誤の末のようやくの商品化。命名コンテストも開き、地元小学生の「やさいのくにのつばきひめ」を採用し、十一月期間限定で販売をし、とても好評だったとのことです。

現在は「いもくりかぼちゃパイ」を期間限定で販売しておりますが、十二月はクリスマスケーキの注文などでなかなか新作はできず、新年を迎え新しい商品を皆さんに提供したいと頑張っているようです。

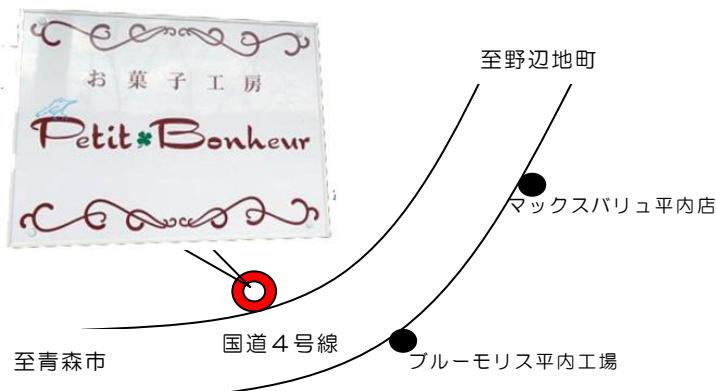


いもくりかぼちゃパイ



特製ホールケーキ

「プティ・ボヌール」はここです！



『小さな幸せ』という名の スイーツのお店

店の名前「Petit・Bonheur(プティ・ボヌール)」はフランス語で『小さな幸せ』という意味。店名のように、当店のスイーツを食べることでお客様に「小さな幸せ」、笑顔を提供できればと思いながら作っております。当店一押し「チーズケーキ」や「季節限定ケーキ」を食べて、「小さな幸せ」を堪能してみてください。

皆様のお越しをお待ちしております。

商工会の旬の話題を提供します

商工会だより

風間浦鮫鯨ブランド化
目指せ！地域団体商標

鮮度抜群！
風間浦鮫鯨まつり開催

風間浦村
商工会

青森県の鮫鯨水揚げ量は全国トップクラスであり、風間浦村は八戸市に次いだ水揚げ量で冬の観光資源として期待されております。風間浦鮫鯨は、独特の漁法と漁場が港から近いことから、ほとんどの魚体が全国的にも珍しい「活きたまま」水揚げされます。その新鮮さゆえ、身は刺身や寿司でも食べられます。

風間浦村にある下風呂温泉郷は、古来より温泉地として知られ室町時代から多くの湯治客を集めたと言われております。井上靖や新島襄ら多くの文豪、文化人が立ち寄った、下風呂温泉でのんびりした後は、産地ならではの鮫鯨フルコースを堪能してみませんか。今年、十二月十日（火）から三月三十一日（月）までの期間、

下風呂温泉では商工会共催による「風間浦鮫鯨まつり」を開催しております。下風呂温泉内の鮫鯨まつり参加宿泊施設にて、鮫鯨フルコースなどが味わえます。

「風間浦鮫鯨フルコース」

税込 七千三百五十円

刺身、鍋、あん肝、共和え、煮こごり、焼き物又は唐揚げの六品をメインに、旬の数がついたお膳となります。

「風間浦鮫鯨ご昼食コース」

税込 三千五百円

鍋、共和えに季節の美味数品がついたお食事となります。

【お問合せ先】

下風呂温泉旅館組合

（風間浦村商工会）

0175・35・2010

※天然の風間浦鮫鯨は、天候次第で入荷出来ない場合もございます。その際は、料理内容が一部変更となる場合がございますので、ご了承ください。



鮫鯨フルコースの一例

地域を変え、
地域を元気にする！

豊富な地場食材を活かし
ご当地グルメの開発！

深浦町
商工会

深浦町は青森県の日本海側に位置し、今年世界自然遺産登録二十年を迎えた白神山があることで知られ、また約八十kmにわたって続く海岸線は「夕陽海岸」とも呼ばれています。

また、青森県と秋田県を跨ぐ人気のローカル線JR五能線「リゾー トしらかみ」運行期間の中でも深浦町を走る区間は日本海の絶景が車窓に広がる人気のエリアで、列車を途中下車しながら、十二湖の青池、ウェスパ椿山、黄金崎不老ふ死温泉、千畳敷などを訪れる観光客で賑わっております。

白神の恩恵を受けた旬の山海の幸・食材も非常に豊富な深浦町で今年六月、青森県内一の漁獲量を誇る「深浦産天然本マグロ」を使った、青森県内初の【新OMOTE NASHI】ご当地グルメ「深浦マグロステーキ丼」が当商工会も参加する「深浦マグロ料理推進協議会」によってデビューしました。

「深浦マグロステーキ丼」については、現在デビュー五カ月余りでおおよそ二万八千食、お土産など関連消費などを含め一億五千万円の経済効果があったと言われております。

メニューの食材には深浦産マグロだけではなく、野菜や人気名産品つるつるわかめを使った汁物、香の物までもが地場産を使い、徹底的に地場食材の使用にこだわるからこそが地域を変え地域を元気にする源になっています。

まだ「深浦マグロステーキ丼」をお召し上がりいただいてない方はまずは当商工会員でもある町内7店舗でぜひご賞味ください。通年で美味しいマグロをご堪能いただけます。



深浦マグロステーキ丼



全国大会へ向けて団結する青年部員

第二十回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会 主張発表 東北・北海道ブロック大会

平成二十五年十月二十三日、ホテル青森（青森市）において第二十回東北六県北海道商工会青年部員交流研修会・主張発表東北北海道ブロック大会が開催され、七道県から総勢三百五十五名の青年部員が参加しました。

主張発表大会では、田舎館村商工会青年部の小野敬之さんが青森県代表として緊張の面持ちの中、熱弁をふるいました。

小野さんは「青年部活動と地域振興・まちづくり」地域の活性化とは？と題し、田んぼアートを通じた青年部活動の内容で、これまででは田んぼアートに対して十分な活動ができなかった反省から、今年誕生した地元のゆるキャラの「米こめくん」と共にイベントに参加したり、中南ブロックで開発している「もっけの汁」を組み合わせた普及活動を目指したりと、以前と比べて積極的に部員活動へ

と取り組むことができた実績と今後の活動内容を主張しました。結果は惜しくも優良賞となりましたが、田舎館村商工会青年部の地域社会に貢献する様子や、部員の結束力は会場の各県の青年部員に伝わったものと思います。

なお今回の最優秀賞には、秋田県代表・由利本荘市商工会青年部の高橋秀彰さんが選ばれ、来年二月に埼玉県で行われる全国大会への切符を獲得しました。

五つのテーマで 活動報告

主張発表後の事例発表では、「あおもりんピック地域活性化運動」明日をつくる仲間と称し、「感動・元気・友情・スポーツ・発展」の五つのテーマのもと、県内青年部の代表者が活動内容を報告しました。本県青年部の活動内容が、今回参加した他県の青年部員にも十分に伝わったものと思います。研修終了後は、同ホテルにおいて交流会が行われました。県女性連中、美会長を中心に女性部員数名の



事例発表のフィナーレ

方々が用意した、けの汁とせんべい汁が振る舞われ、青森県の郷土料理に舌鼓を打っておいしかったです。それに加え、ステージではトリオ☆ザ☆パンチョスによる「せんべい汁の唄」などが披露されました。また、浪岡の翔浪会によるねぶた囃子の際は、たくさんの方々がハネトとなり、会場は盛り上がり、交流を深めておりました。



あいさつをする末武全女性連会長（左）と、全女性連副会長として部員増強運動の結果報告をする中美会長（右）



地域商工業者及び商工会の推進役として知識習得や女性部活動の一層の活性化に寄与することを目的に、第十五回女性部全国大会が平成二十五年十月十七日（木）～十八日（金）の二日間、ひめぎんホール（愛媛県松山市）において開催されました。

第十五回 商工会女性部全国大会 in 愛媛

愛顔あふれる

愛媛の出愛

今大会のスローガン「伊予予心
おいでよ“媛の国”」愛顔あふれる
愛媛の出愛のもと、全国から約二千八百名が集まり、青森県からは二十名が参加しました。
主張発表大会においては、六ブロックの代表者が活き活きとした発表で会場を沸かせ、東北北海道ブロック代表の宮城県代表・河南桃生商工会女性部の若山弘子さんは「女性部活動に参加してはねこ踊りに笑顔添えて」という



参加者の記念撮影

記念講演では豊岡台病院院長（日本笑い学会四国支部代表）の枝廣篤昌氏による「愛顔のチカラ」というテーマのもとで講演が行われました。「笑い」を活かした地域づくりを実践しており、会場内も終始笑顔が絶えない講演となりました。

テーマで熱弁をふるい、優秀賞に輝きました。
なお、最優秀賞は中部ブロック代表・富山県上市町商工会女性部の平井潤子さんに決まりました。



名取市商工会女性部員を温かく出迎える女性部員

十月十一日、宮城県の名取市商工会女性部部員十六名が県内のおもてなし事業に参加し、五所川原市金木など各地の観光名所を巡りました。
一行は立俣武多の館や太宰治記念館「斜陽館」などを見学し、北津軽の歴史や文化を実感しました。
翌日十二日は上十三地区商工会女性部連絡協議会を組織する十一女性部と意見交換が行なわれ、短い時間でしたが充実した交流会になりました。

名取市商工会女性部
青森のおもてなしを堪能



事例発表の様子

平成二十五年度 経営指導事例研究発表

十月三十一日に行われた経営指導事例研究発表は、小規模事業者等に対する経営革新、農商工連携、販路開拓支援等課題解決に対する取り組みの支援や、経営改善事業指導実績を有する経営指導員が互いのノウハウ及び経験を共有し、専門化・高度化する相談業務に対応する事を目的としています。

また、特に良い成績者は来年度の経営支援事例発表東北ブロック大会で、本県代表として発表します。

ブロック選考会に於いて八名の発表者選出

十月三十一日、アップルパレス（青森市）で行われた平成二十五年度第一回商工会役員研修会の中で、経営指導事例研究発表が開催されました。

事前に各ブロックに於いて選考会が行われ、当日は県内七ブロックより八名の代表者（上十三地区二名）が、小規模事業者に対して指導する中で学んだことや、直面した課題など自身の経験を発表しました。

つがる市商工会の長見経営指導員が本県代表に選出

中小企業診断士である伊藤朗氏を審査委員長とした審査の結果、西つがる地区代表の長見道子経営指導員（つがる市商工会）が特に良い成績者に選ばれました。

ご主人の鬱病により、負債を抱える事業所の経営状況が分からず不安を抱えていた奥さんに対して、親身になって相談に乗り、一つ一つ課題を抽出・解決を図ることで、資金繰りの向上や、経営状況の把握が可能となった奥さんの笑顔をとり戻していった経験を語り、「心の病を抱えるご主人への接し方に悩む家族の姿を見て、励ます事が厳禁でも不安や絶望を和らげ希望を与えることが大切だと学んだ」と振り返りました。



自身の経験を語る
つがる市商工会の長見指導員

事例発表者各地区代表

- 東郡地区
 - ・ 今別町商工会 工藤真二
 - 「藤田先生と一緒に作った経営計画 整骨院から小規模ディサービスへの業態転換」
- 中南地区
 - ・ 平川市商工会 吉田幹雄
 - 「マル経制度の有効活用 短期借入金としてのつなぎ資金」
- 西・つがる地区
 - ・ つがる市商工会 長見道子
 - 「事業継承による経営不振から脱出 心の支援・私はビジネスドクター」
- 北五地区
 - ・ 中泊町商工会 三橋亨
 - 「経営安定に係る資金繰り円滑化支援の事例」
- 上十三地区
 - ・ 上北町商工会 小泉光春
 - 「個人事業主から法人成りへ 今後のさらなる発展のために」
- 七戸町商工会 芦沢賢一
- 「経営相談事例に学ぶ商工会職員としての私の姿勢」
- 三八地区
 - ・ 南部町商工会 水梨実
 - 「事業継承 事業の継続は地域の力なり」
- むつ・下北地区
 - ・ 大間町商工会 新田聖也
 - 「ごみから金を生み出す！ 海の雑草を肥料へ！」

事業主のみなさまへ

労働保険の成立手続はお済みですか

労働保険とは

労災保険と雇用保険とを総称した言葉で、政府が管掌する強制保険制度です。

～雇用形態にかかわらず、労働者を一人でも雇用している事業主は
一部の事業を除き、労働保険に加入する義務があります～

加入手続は、労働基準監督署及び公共職業安定所
(ハローワーク)で行っております。

◎各種の届出等の事務処理については、労働保険事務組合（商工会等）
や社会保険労務士に依頼することもできます。

平成26年1月から

記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます

個人の白色申告者のうち前々年分あるいは前年分の事業所得、不動産所得
又は山林所得の合計額が 300 万円を超える方に必要とされていた記帳と帳簿
書類の保存が、平成 26 年 1 月からは、これらの所得を生ずべき業務を行う全
ての方（所得税及び復興特別所得税の申告の必要がない方を含みます。）につ
いて必要となります。

記帳・帳簿等の保存や記帳の内容の詳細は、国税庁ホーム
ページ（<https://www.nta.go.jp>）に掲載されていますので、
ご覧ください。

詳しくは最寄りの税務署にお問合わせください。

◎また、税務署では、新たに記帳を行う方や記帳の仕方がわからない方のために、
記帳・帳簿等の保存制度の概要や記帳の仕方等を説明する「記帳説明会」を実施
しています。

商工会の

経営者と従業員のための全国商工会休業補償制度

休業補償プラン

所得補償保険団体契約(天災補償特約セット)

3大メリット

1. ケガや病気による就業不能を補償
2. 医師の診査が不要で加入手続きが簡単
3. 団体割引等適用のため保険料が割安

基本保険料の
負担の少ない
割安保険料 約**44%**
割引



保険期間

平成25年10月1日 午前0時
平成26年10月1日 午後4時 1年間

中途加入毎月受付中

補償期間:毎月1日~平成26年10月1日

ケガや病気で働けない間、
保険金をお支払いします。
最高1年間補償(免責7日間)

全国商工会連合会

商工会名・商工会連合会名

引受保険会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

商工会会員の皆様へ

商工会の休業補償制度

(所得補償保険)

全国商工会経営者休業補償制度

保険料割引
約**37%**

2013年度版

団体割引で保険料も
お手頃です!!

病気やケガで働けない間、
所得が補償されます。



保険期間

平成25年**10月1日**午後4時～平成26年**10月1日**午後4時

募集期間

平成25年**7月1日**～平成25年**8月**末日

中途加入は毎月受付中

毎月**1日**午前0時の補償開始でご加入いただけます。

※ 団体割引(30%以上の補償率による割引)10%

団体割引[(1-30%)×補償率による割引(1-10%)=0.63 → 37%割引(補償率による割引は天災危険補償特約保険料には適用されません。)]

全国商工会連合会

引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社

病気やケガで全く働けなくなった期間、月々の所得を補償します。

平成25年10月版

全国商工会の会員および従業員のための

全国商工会経営者休業補償制度 (団体所得補償保険)

毎月加入
受付中!



● 本制度のメリット

約**36%**の割引適用

団体制引15%

過去の損害率による割引25%適用

● ご加入対象

基本契約 (所得補償保険)

全国の商工会会員の経営者および従業員の方で新加入:15歳~64歳
継続加入:15歳~89歳

奥様安心プラン (家事従事者特約付所得補償保険)

全国の商工会会員の経営者、従業員の配偶者で、
加入時年齢が15歳~64歳までの家事従事者の方

保険期間:平成25年10月1日(火)午後4時~平成26年10月1日(水)午後4時

新規・更改募集の締切:平成25年8月30日(金)

中途加入・脱退・内容等の締切:変更を希望する月の前月15日

毎月1日の保険料期で
ご加入になります。

(契約者)
 **全国商工会連合会**